

Press Release

2024.6.8

百瀬文

「十年」

2024年6月22日(土) - 7月21日(日) 11:00-19:00 月火祝 休廊

タリオンギャラリーでは、百瀬文による個展「十年」を開催いたします。
是非ともご覧下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。

百瀬文は、見ることと見られること、語ることと語られることの非対称性を映像によって自己言及的に問い直し、主体の揺らぎや不確かさを露わにするとともに、他者との交感が空転しつつも発現するコミュニケーションの多様なあり方を示す作品を制作してきました。その場に存在するにも関わらず無いものとされてきた声、それらを生み出す構造を扱い、近年はジェンダーやセクシュアリティをめぐる問題にも明示的に取り組んでいます。

本展では、2014年6月に撮影された映像フッターをもち、この10年、あるいはこれからの10年の姿について問いかける場を共有します。その映像には、群衆のなかで役務をまとった公的な身体と私的にひらかれた身体とが、シュプレヒコールの声のなかで、ひとつの相貌に折り重なって映し出されます。そこにあらわれるのは、現在からひととき隔てられた社会や個人のひとつの像ではなく、いままさに現実を成そうとする、それぞれの希いや求めを持って日々を生きる人々のビジョンです。



百瀬文 Aya Momose

- 1988 東京都生まれ
2011 武蔵野美術大学造形学部油絵学科卒業
2013 武蔵野美術大学大学院造形研究科美術専攻油絵コース修了

主な個展

- 2023 「わたしのほころび」久留米シティプラザ(福岡)
2022 「百瀬文 口を寄せる」十和田市現代美術館(青森)
2020 「Born to Die」switch point(東京)
2019 「I.C.A.N.S.E.E.Y.O.U」EFAG(東京)
2018 「Borrowing the Other Eye」ESPACE DIAPHANES(ベルリン)

主なグループ展

- 2023 ATAMI ART GRANT2023「巡 - Voyage ATAMI」熱海市内各所(静岡)
MEET YOUR ART FESTIVAL 2023「Intersecting Perceptions - 交差する眼差し -」寺田倉庫 G1 ビル(東京)
ANNUAL BRAKE 2023「あたらしい肌」The 5th Floor(東京)
「MOT コレクション 被膜虚実 / Breathing めぐる呼吸」東京都現代美術館(東京)
Theater der Welt 2023「Incubation Pod. Dreaming worlds」フランクフルト応用美術館(フランクフルト)
「手なずけるとか手を噛まれるとか」JUNGLE GYM(東京)
2022 「国際芸術祭あいち 2022」愛知芸術文化センター(愛知)
「体の終わり」Centro Cultural Las Cigarreras (アリカンテ、スペイン)
「惑星ザムザ」小高製本工業株式会社 跡地(東京)
2021 「新・今日の作家展 2021 日常の輪郭」横浜市民ギャラリー(神奈川)
「インフィニット・カンバセーション 黒木コレクション 2011-2021」ILY,hub(東京)
「語りの複数性」東京都渋谷公園通りギャラリー(東京)
「フェミニズムズ / FEMINISMS」金沢 21 世紀美術館(石川)
「新しい成長」の提起 ポストコロナ社会を創造するアーツプロジェクト」東京藝術大学大学美術館(東京)
2020 遠藤麻衣 × 百瀬文「新水晶宮」VOU/ 棒ギャラリー(京都)
「彼女たちは歌う」東京藝術大学大学美術館陳列館(東京)
遠藤麻衣 × 百瀬文「新水晶宮」TALION GALLERY(東京)
「3331 ART FAIR」3331 Arts Chiyoda(東京)
2019 「Reliving the Wounds」OPENBOX(ソウル)
「Happiness is Born in the Guts」
Municipal Gallery Arsenal(ポズナン、ポーランド)
「Beyond Destruction」VICAS ART STUDIO(ハノイ)
2018 「織り目の在りか」あいちアートプログラム：オリナスー宮(愛知)
2017 「THE TRIAL」Corner College(チューリッヒ)
「Brooklyn's Finest」Holyrad Studio(ニューヨーク)
「Melting Point」SeMA NANJI Exhibition Hall(ソウル)

主な受賞

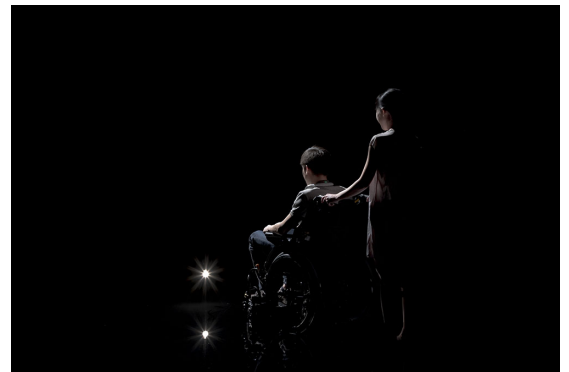
- 2023 第 34 回 (2023 年度)タカシマヤ美術賞
2012 「群馬青年ビエンナーレ 2012」奨励賞

主なパブリック・コレクション

愛知県美術館、大阪中之島美術館、東京国立近代美術館、東京都現代美術館、横浜美術館



「百瀬文 口を寄せる」十和田市現代美術館 (青森) での展示風景
2022 | 撮影：瀬尾憲司



クローラー | 2022 | 参加型パフォーマンス | 20分
Photo: Takayuki Imai | ©Aichi Triennale Organizing Committee



「国際芸術祭あいち 2022」
愛知芸術文化センター (愛知) での展示風景
2022 | ©ToLoLo studio/Aichi Triennale Organizing Committee



山羊を抱く / 貧しき文法 | 2016
シングルチャンネルビデオ | 13分 50秒

—
本展覧会に関しまして貴誌・貴社にてご紹介いただけますと幸いです。掲載用写真の貸出、ご質問などございましたら、下記お問い合わせ先までご連絡くださいますようお願い申し上げます。

[展覧会概要]

展覧会名	十年
アーティスト	百瀬文
会期	2024年6月22日(土) - 7月21日(日) 11:00-19:00 定休日：月・火・祝日
会場	TALION GALLERY 東京都豊島区目白2-2-1 B1
VIデザイン	百瀬文、サ世木、山本悠、徐美玉
企画	上田剛史 (TALION GALLERY ディレクター)

[お問い合わせ]

TALION GALLERY 広報担当

Email: info@taliongallery.com Tel/Fax: 03-5927-9858

171-0037 東京都豊島区目白2-2-1 B1 URL: www.taliongallery.com

—
車椅子でお越しの方や急な階段が苦手な方は、エレベーターをご利用いただけます。
建物の都合上ご案内が必要なため、恐れ入りますがご利用の際はギャラリーまでお電話ください。(03-5927-9858)